

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 10 日(2024.7.10)

【公開番号】特開 2024-52897(P2024-52897A)
【公開日】令和 6 年 4 月 12 日(2024.4.12)
【年通号数】公開公報(特許)2024-068
【出願番号】特願 2024-29771(P2024-29771)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 0 5 B

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 9 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 7 月 2 日(2024.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 制御手段を有し、

第 2 制御手段を有し、

計数スイッチを有し、

第 1 制御手段は、第 1 遊技状態から第 2 遊技状態へ移行させることが可能であり、

第 2 制御手段は、ホールコン・不正監視情報を第 1 の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

30

第 2 制御手段は、遊技機設置情報を第 2 の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

第 1 の期間は第 2 の期間よりも短い期間であるよう構成されており、

第 2 の期間は第 1 の期間の倍数であるよう構成されており、

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第 1 タイミングにて第 1 遊技状態であり、ベット数が 0 であり、付与数が 0 であり、当該第 1 タイミングから第 1 の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第 2 の期間が経過した第 2 タイミングにて第 1 遊技状態であり、ベット数が 0 であり、付与数が 0 であった場合は、当該第 2 タイミングにおいて遊技機設置情報を外部ユニットに向けて送信可能であり

40

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第 1 タイミングにて第 1 遊技状態であり、ベット数が 0 であり、付与数が 0 であり、当該第 1 タイミングから第 1 の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第 2 の期間が経過した第 2 タイミングにて第 2 遊技状態であり、ベット数が 0 であり、付与数が 0 であった場合は、当該第 2 タイミングにおいてホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能であり、

第 1 制御手段が所定のエラーを検知している所定の状況では、スタートレバーが操作されてもリールが回転せず、ベットスイッチが操作されてもベットされず、設定キースイッチがオンにされても設定確認モードに移行せず、第 2 制御手段が V L 異常を検知している

50

特定の状況では、スタートレバーが操作されてもリールが回転せず、ベットスイッチが操作されてもベットされず、設定キースイッチがオンにされると設定確認モードに移行可能である

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

10

本態様に係る遊技機は、

第1制御手段を有し、

第2制御手段を有し、

計数スイッチを有し、

第1制御手段は、第1遊技状態から第2遊技状態へ移行させることが可能であり、

第2制御手段は、ホールコン・不正監視情報を第1の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

第2制御手段は、遊技機設置情報を第2の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

第1の期間は第2の期間よりも短い期間であるよう構成されており、

20

第2の期間は第1の期間の倍数であるよう構成されており、

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいて遊技機設置情報を外部ユニットに向けて送信可能であり、

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第2遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいてホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能であり、

30

第1制御手段が所定のエラーを検知している所定の状況では、スタートレバーが操作されてもリールが回転せず、ベットスイッチが操作されてもベットされず、設定キースイッチがオンにされても設定確認モードに移行せず、第2制御手段がVL異常を検知している特定の状況では、スタートレバーが操作されてもリールが回転せず、ベットスイッチが操作されてもベットされず、設定キースイッチがオンにされると設定確認モードに移行可能である態様である。

また、本態様に係る遊技機は、

40

内部抽せん手段

を備え、

総遊技価値数を記憶可能であり、

遊技機の外部に対して総遊技価値数の一部または全部の遊技価値数を出力可能に構成されており、

遊技機の外部から貸出に関する情報を受信可能であり、

遊技機の外部から貸出に関する情報を受信した場合に、当該貸出に関する情報に含まれる貸出数を総遊技価値数に加算し得るよう構成されており、

遊技機の外部から貸出に関する情報を受信した回数に関するカウンタである所定のカウンタを有しており、

50

所定時間ごとに遊技機外部に所定の情報を出力可能であり、
遊技機の外部に出力する情報の管理に関する所定の処理を実行可能であり、
前記所定の情報を遊技機外部に出力した後に、所定のフラグをオンにし得るよう構成されており、

前記所定の処理の実行中において、前記所定のフラグをオフにし得るよう構成されており、

前記所定の処理の実行中において、前記所定のカウンタのカウンタ値が所定値でない場合には第 1 の異常処理を実行するよう構成されており、

遊技機の外部から貸出に関する情報を受信した場合に、前記所定のカウンタのカウンタ値が前記所定値でない場合には第 2 の異常処理を実行するよう構成されており、

10

遊技機の外部から貸出に関する情報を受信した場合に、当該貸出に関する情報に含まれる貸出数が 0 でなく且つ前記所定のフラグがオフである場合には、第 3 の異常処理を実行するよう構成されており、

遊技機の外部から貸出に関する情報を受信した場合に、当該貸出に関する情報に含まれる貸出数が 0 でなく且つ前記所定のフラグがオンであり且つ遊技機の外部に対して出力する遊技価値数として 0 でない値が記憶されている場合には、第 4 の異常処理を実行するよう構成されている

ことを特徴とする態様であってよい。

20

30

40

50